

受験番号					

平成 31 年度
東京大学大学院新領域創成科学研究科
環境学研究系
--- 国際協力学専攻 ---

入学試験問題
修士課程一般入試

平成 31 年 1 月 28 日(月)
14:00—15:10(70 分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答には、必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
3. 解答用紙・草稿用紙はそれぞれ1枚です。破損した場合を除き、解答用紙もしくは草稿用紙を2枚以上配布することはできません。
4. 解答用紙の所定欄に、受験番号を必ず記入しなさい。また、問題冊子・草稿用紙にも受験番号を記入しなさい。受験番号が記入されていない場合には採点されない場合があります。
5. 解答用紙に、解答に関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。
6. 問題冊子・解答用紙・草稿用紙を持ち帰ってはいけません。
7. 試験時間は70分です。ただし、試験開始後30分を経過した後は、問題冊子・解答用紙・草稿用紙を試験監督に提出したうえで、退出してもかまいません。

このページは空白です。問題は次のページにあります。

問題 付属する資料（新聞記事は日・英とも同内容、Factsheet は英語のみ）を参照し、ロヒンギャ難民について、以下の問いに答えなさい。

United Nations High Commissioner for Refugees (UNHCR) は難民問題の解決策として、「自主帰還」、「第三国定住」、「庇護国における社会統合^{*}」を挙げている。それぞれの解決策を実行する上で障壁となり得る事柄について、難民、バングラデシュ政府、国際社会それぞれの観点から、現場で起こる問題を想像し、あなたの考えを論理的に説明しなさい。

^{*} 庇護国における社会統合は、難民の庇護国での定住資格取得、場合によっては帰化をめざした法的・経済的・社会文化的プロセスです。(UNHCR ウェブサイトより<<https://www.unhcr.org/jp/localintegration>>)

試験時には以下の資料を配布。

- 新聞記事（日本語）「ロヒンギャの帰還は「時期尚早」、米国と国連が懸念」
<https://www.cnn.co.jp/world/35128651.html>
- 新聞記事（英語）「US, UN warn against Rohingya repatriation plan」
<https://edition.cnn.com/2018/11/13/politics/rohingya-repatriation-state-un/index.html>
(Partially revised for the consistency with the Japanese translation.)
- Population Factsheet, UNHCR, Bangladesh, Cox's Bazar – as of 31 December 2018
<https://data2.unhcr.org/en/documents/details/67447> (Only page 1 was provided.)